

★平坦感, 温冷感, 柔軟性, 金属質感, 繊維感, 触感の快不快・・・ヒトの感覚器の機構と評価法

セミナーNo.302203

★「売れる触り心地」に必要なファクター, 医療介護・健康寿命・安全性に関わる触感づくりとは?



触感・触り心地のメカニズムと

その測定評価, 製品設計や各種応用技術

●日 時: 2023年2月9日(木) 10:00~17:00

●聴講料: 1名につき 66,000円(消費税込み, 資料付)

●会 場: [Zoomを使用したLive配信セミナーです。]

[1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき60,500円(税込)]

勤務先やご自宅のパソコンでご視聴ください。

[大学, 公的機関, 医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]

1. 「触感」「触り心地」のメカニズムと

[10:00~11:45]

その測定評価, その応用

山形大学 大学院理工学研究科 教授 博士(工学) 野々村 美宗 氏

1. なぜ触覚を研究するのか? 触覚とものづくりの可能性

- ・触覚に着目したもののづくりの可能性
- ・事例: 衣料・化粧品・自動車・情報機器

2. ヒトの触覚認識メカニズム

- ・触覚受容器における情報処理
- ・脳における情報処理
- ・触覚センサと触覚ディスプレイ

3. 手触り・触感の定量化技術の最新動向

- ・ヒトはなぜ多彩な触感を感じるのか?
- ・ヒト指モデル・人工皮膚を利用した触覚センシング
- ・ヒトの触動作を模倣した触覚センシング
- ・高速カメラ・フォーカスプレートハイブリッドシステム
- ・しっとり感・さらさら感の発現メカニズム
- ・ヒト皮膚および毛髪摩擦ダイナミクスと触感
- ・メイクアップ化粧品の摩擦ダイナミクスと触感
- ・手術用ロボットのための触覚ディスプレイシステム

【質疑応答】

2. 時系列官能評価法による化粧品触感の

[12:30~13:30]

動的評価と商品開発への応用事例

花王(株) 感覚科学研究所 研究員 博士(心理学) 中野 詩織 氏

1. 時系列官能評価法について

- 1.1 時系列官能評価法の種類と特徴
- 1.2 Temporal Dominance of Sensations (TDS)法について

2. 化粧品評価への適用

- 2.1 化粧品塗布場面に合わせた評価法の検討
- 2.2 異なる剤型の化粧品評価事例

3. スキンケア製品開発への応用事例

【質疑応答】

3. 触感(風合い)および「ヒト」の「温感・冷感」を

[13:40~14:40]

感じるメカニズムと客観評価法, その応用

カトーテック(株) 執行役員 営業部 部長 河内 敬 氏

1. 「風合い」とは何か? その数値化とニーズ

2. ヒトが「温感」「冷感」を感じるメカニズム, その数値化とニーズ

3. それぞれの測定方法の実際

- (各種測定機器とその測定原理, 試料の設定や調整, 測定環境条件など)

4. 測定の進め方, 応用事例など

5. 今後の展望

【質疑応答】

4. 錯覚・クロスモーダル・マルチモーダルなどの

人間の知覚特性を利用した触覚提示とその可能性

筑波大学 システム情報系知能機能工学域 助教 博士(工学) 橋本 悠希 氏

1. 触覚の構造と機能

- 1.1 触覚受容器の種類と特徴
- 1.2 各触覚受容器の時空間的役割

2. 触覚における錯覚・クロスモーダル・マルチモーダル研究

- 2.1 錯覚の事例
- 2.2 クロスモーダルの事例
- 2.3 マルチモーダルの事例

3. 効率化された触覚提示技術の可能性

- 3.1 これまでの触覚提示技術が持つ問題
- 3.2 効率的な触覚提示への取り組み
- 3.3 触覚の効率化がもたらす未来

【質疑応答】

5. 感性工学を用いた自動車内装質感の

定量化と設計技術

マツダ(株) 車両開発本部 車両実研部
クラフトマンシップ開発グループ マネージャー 福井 信行 氏

1. 自動車内装質感向上への取り組み事例

2. 内装材の表面質感

3. 加飾の質感と機能

4. 触感の質感・触感向上

5. 操作感向上と統一感

6. 量産車への織り込み事例紹介

【質疑応答】

セミナー申込書【講師紹介割引】

「触感」セミナー

No.302203

2/9

- ・講師からの紹介として, 聴講料を**左記定価より20%割引**させていただきます。
- ・2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。
- ・申込書に必要事項をご記入の上, FAX (03-5436-5080) にてお申込みください。
- ・当社(技術情報協会)への直接のお申込みに限り, 本割引サービスを適用いたします。

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	FAX		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) [郵送(宅配便)・FAX・e-mail]			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付, 事務処理, アフターサービスのため		・今後の新商品, 新サービスに関するご案内のため	
・セミナー開催, 運営のため講師へもお知らせいたします			



TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

申込専用FAX 03-5436-5080

●申込方法

1. 申込書が届き次第, 請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
2. お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので, ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等, 状況により中止させて頂く場合がございます。
4. 定員になり次第, 申込みは締切となります。